

(やまがた緑環境税活用事業)

平成23年度野生生物保全実践研修会の開催

地球上では、約3000万種とも言われる多種多様な生き物が相互につながり合い、支え合うことで「自然のバランス」を築いてきました。しかし近年、生息環境の悪化などにより、種の絶滅のおそれが増大し、地球的規模で生物多様性が危機に瀕しています。これらのほとんどが、開発や乱獲、外来種の持ち込みなど、人間の活動が原因となっていると言われています。

山形県内で野生生物の保護増殖活動を行っている団体から実際の活動をお聞きし、問題点を考えてみませんか？また、自分たちの活動を見直してみませんか？

＜主催：山形県、後援：山形県教育委員会＞

日時：平成24年2月11日（土）10時～15時15分

場所：村山農業高等学校（村山市楯岡北町1-3-1）

参加対象：野生生物の保全活動を行っている団体や個人、関係する行政担当者、これから保全活動への取組みを考えている団体や学生、一般県民等

定員：先着40名

研修会の内容

○村山農業高等学校バイオテクノロジー部による「アツモリソウ」の保護増殖活動等についての講演及び研修会出席者の参加による「無菌操作」の実践研修

演題＜「アツモリソウ」等希少野生植物の保護増殖活動について＞

近年、里山の保全の重要性など、人が手を加えることによって、初めて生態系の保全が図られることが注目されはじめている。村山農業高等学校バイオテクノロジー部は、無菌播種などのバイオテクノロジー技術や独自の順化方法を用いて「アツモリソウ」の増殖等に成功した。また、他の希少植物の保護増殖活動にも取り組んでいる。その保護増殖等の手法について参加者とともに学び、保全のあり方の問題点等を考えていく。

※【アツモリソウとは】

「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づく「国内希少野生動植物種」に指定され、採取が禁止されているラン科の植物。県内でも自生地がわずか1箇所に限られ、個体数も少なく絶滅が懸念されている。

○山形県植物調査研究会 沢和浩氏による講演

演題＜山形県内の希少野生植物の状況について＞

「希少種」という言葉は社会に根づき、保全活動等の取組みは県内各地で始められているが、各個人や団体が手探りで進めている状況であり、問題点や課題が十分には明らかにされていない。

沢氏らが所属する山形県植物調査研究会の調査結果をもとに、山形県内の希少野生植物の現状を学び、今後の保全活動の課題等を明らかにするための参考とする。

申込方法：別紙申込書によりFAX、郵送又は電子メールでお申込みください。

申込締切：平成23年2月8日（水）

※ 応募状況により申込締切日以降も受け付ける場合がありますので、お

気軽にお問合せください。

- ※ 研修会に参加する方は、動きやすい服装等実践研修を行うのに適した服装での参加をお願いいたします。
- ※ 施設見学等の際、屋外を移動する可能性がありますので、季節柄長靴及び外套等をご用意ください。
- ※ 参加費は無料ですが、昼食は各自で準備してください。
- ※ 県では、参加者についての傷害保険等に加入しておりません。この点をご了承のうえご参加ください。

担当：山形県生活環境部みどり自然課 自然環境担当

電話：023-630-2208

FAX：023-630-2133

平成23年度野生生物保全実践研修会申込書

団体名 _____

所属	職名	氏名	備考

○行政関係者以外の方は、氏名以外は記載できる範囲で書いてください。

※以下については、行政関係者以外の方が申し込む場合に記入してください。個人による申込みの場合は、「活動内容（もしくはこれから活動を考えている内容）」欄以下のみ記載してください。

団体名			
代表者 役職・氏名	役職名		氏名
所在地	住所		
会員数(構成員数)	名		
活動内容 (もしくはこれから活動を考えている内容)			
◆連絡先			
担当者 役職氏名	役職名		氏名
担当連絡先	〒		
	住所		
	電話		FAX
	電子メール アドレス		
名簿登載の同意	保全活動のネットワークを広げるため、参加者の名簿を作り、研修会当日に配布したいと考えております。(記載内容はこの表の「団体名」以下の部分です。)名簿登載に同意していただける方は、右の欄にチェックしてください。		同意する <input type="checkbox"/>